

第2章 伊東・小室地域まちづくり基本構想

1. 伊東・小室地域の概況

1) 伊東地域

温泉湯治場から発展し、温泉旅館やホテルが立地する温泉観光地・伊東の顔となる地域で、公共公益的施設、商店街等も充実した本市の中心地です。

市街地は比較的早くから、土地区画整理事業により整備されてきましたが、都市計画道路網等の骨格的な都市施設整備が遅れています。木造の老朽建築物を抱える密集した区域もあります。

市街地北西側には山地・樹林地を擁し、東側は相模灘に面する、海と緑に囲まれた市街地です。

◆沿革

江戸時代には伊東郷の中心地であり、明治時代から温泉場として発達してきました。明治39年に伊東町となり、昭和22年、小室村と合併し、伊東市が誕生しました。

◆地形・地勢

市街地は伊東大川（松川）の沖積地に発達し、北西側には山が迫り、東側は相模灘に臨み、南側は急峻な斜面を持ちながら安定した平坦地となっています。

◆土地利用・都市施設等の概要

商業地が主体となった市街地が形成され、市街地南側の斜面には畑地が広がっています。沿岸部に国道135号及び同バイパスが南北に、東西には主要地方道伊東修善寺線が通っています。

鉄道はJR伊東線、伊豆急行線が市街地の西側にあり、まちの中心である伊東駅で、両線が結ばれています。

本市の中心地域として、市役所等公共公益的施設や拠点施設が数多く立地しています。

<地区別概況>

湯川地区

4.22 k m²、 2,460 人、 1,261 世帯

伊東駅を中心とする地区で、駅西側には山々の緑が迫っています。

市街地は駅前から伊東海岸まで連担し、商業施設や業務施設が立地しています。商業系施設に混在して、戸建て住宅も立地しています。

松原地区

2.45 k m²、 3,363 人、 1,816 世帯

湯川地区に連担する市街地は、温泉湯治場の頃から中心地として栄え、旅館やホテルが集積しています。加えて、商店街が幾筋も通り、密集した商業地を形成しています。

山の斜面にも寮・保養所、ホテルが立地しています。

玖須美地区

3.63 k m²、 8,800 人、 3,886 世帯

中心市街地の南側斜面に立地する地区です。中心市街地に連担する住宅を主体とする市街地は、南側に学校や体育館、運動場の公共施設が集積しています。

地区東側には、植木畑が広がり、その中にも住宅が立地するようになってきました。

新井地区

2.13 k m²、 1,121 人、 535 世帯

新井山北麓で、海岸に沿って形成された漁村集落を母体とした市街地です。主な市街地は山裾に沿って連担し、谷地沿いにも連なっています。

山裾の市街地の海岸には、国道 135 号バイパスがあり、さらにその海側には伊東港が整備されています。

岡地区

7.47 k m²、 8,407 人、 4,278 世帯

地区の中央には伊東大川（松川）が流れ、川沿いの市街地は、松原地区に連担し、商店やホテル、住宅地が混在しています。

市街地西側・南側の斜面には、住宅地やみかん畑があります。また、西側斜面には、寮・保養所も立地しています。

鎌田地区

12.42 k m²、 3,784 人、 1,890 世帯

中央に伊東大川（松川）が流れ、河川北側の扇状地に岡地区と連担する市街地があります。

南伊東駅を中心とする区域で、土地区画整理事業が完了し、商店や住宅が混在する市街地が形成されています。

地区西側の山中には松川湖（奥野ダム）があり、湖の上流域は水源かん養林となっています。

◆都市整備に係る概況

昭和 11 年～53 年までに土地区画整理事業が行われ、5 地区約 75 ha の市街地が面的に整備されました。

都市計画公園は、市街地周辺に 14 か所あります。

公共下水道が 519 ha の区域で計画され、整備が進められています。

2) 小室地域

漁村、農村の在来集落が点在し、一碧湖や小室山、川奈海岸等の景勝地があり、樹林地や農地等の自然環境が豊かな地域です。

別荘分譲地開発や観光レクリエーション施設整備により、保養地・観光地へと変化する一方、農地の宅地化が進行し、学校や体育館等の公共公益的施設が多数あり、住宅地としての性格を有する地域でもあります。

近年は、地域人口の増加もあり、国道 135 号沿道に商業施設が立地する等、住宅地域としての性格を強めています。

◆沿革

川奈は漁村、吉田、荻、十足は農村として発達してきました。明治維新後は小室村となり、昭和 22 年に伊東町と合併し、伊東市となりました。

◆地形・地勢

小室山を取り囲むように、起伏のある溶岩台地が広がっています。海岸沿い等の緩斜面地はゴルフ場に改変されています。

小室山南西には、一碧湖があります。

◆土地利用・都市施設等の概要

小室山の麓をかすめるように国道135号、海岸部に県道伊東川奈八幡野線が通っています。国道135号沿いに市街地が形成され、幹線道路に接続する市道等の沿道で、市街化が進行しています。

<地区別概況>

川奈地区

5.81 k m²、 7,639 人、 3,346 世帯

川奈港を中心とした漁村集落から発展した地区です。漁村集落以外の区域は、高原台地で、地区南側には小室山があります。その山麓で別荘地や宅地の分譲地開発が進み、新興住宅地を形成しています。

小室山東側、海岸に迫る台地上に、ゴルフ場があります。

吉田地区

6.09 k m²、 3,498 人、 1,571 世帯

農村集落に隣接する区域で、土地区画整理事業により市街地を整備しています。

市街地の中央を国道135号が通り、沿道には商業施設や飲食店が連なり、その周辺は住宅地となっています。市街地周辺は山林で、地区西側には、一碧湖があります。

荻地区

5.47 k m²、 6,683 人、 2,856 世帯

荻十足川沿いに農村集落があり、その北側及び東側の台地上に新興住宅地があります。北側の市街地は、角折団地、周辺の茶畑に混在する戸建て住宅等で構成されています。

地区東側には、計画的に開発された住宅分譲地があります。

十足地区

7.47 k m²、 1,563 人、 713 世帯

荻十足川上流域に位置し、河川沿いには県道池東松原線が通り、この沿道に田園集落があります。

集落西側は山地、東側には別荘分譲地があります。地区北側にある別荘分譲地では、近年戸建住宅が増加しています。

◆都市整備に係る概況

吉田地区の国道135号沿いには土地区画整理事業により、市街地が整備されています。沿道には商業施設が立地しています。

小室山一帯には、大規模な都市計画公園が整備されています。

公共下水道が202haの区域で計画され、整備が進められています。

2. 伊東・小室地域まちづくり基本構想

1) 将来の地域構造の考え方

～『一体的に新しい街を創ろう』

伊東・小室地域の市街地が連担する区域では、一体的な都市構造を備えた新しい街を創出します。

伊東地域の市街地は、現在の中心市街地と周辺斜面の住宅系市街地を基本とし、小室地域では、川奈駅周辺や吉田の国道135号沿道、角折団地付近の住宅地を中心に、住宅系市街地を整えていきます。

この2つの地域を一体的な構造とするため、骨格的な道路網を整え、商業業務機能の役割分担を明確にし、各区域の住宅系市街地で個性的な住環境を形成していきます。

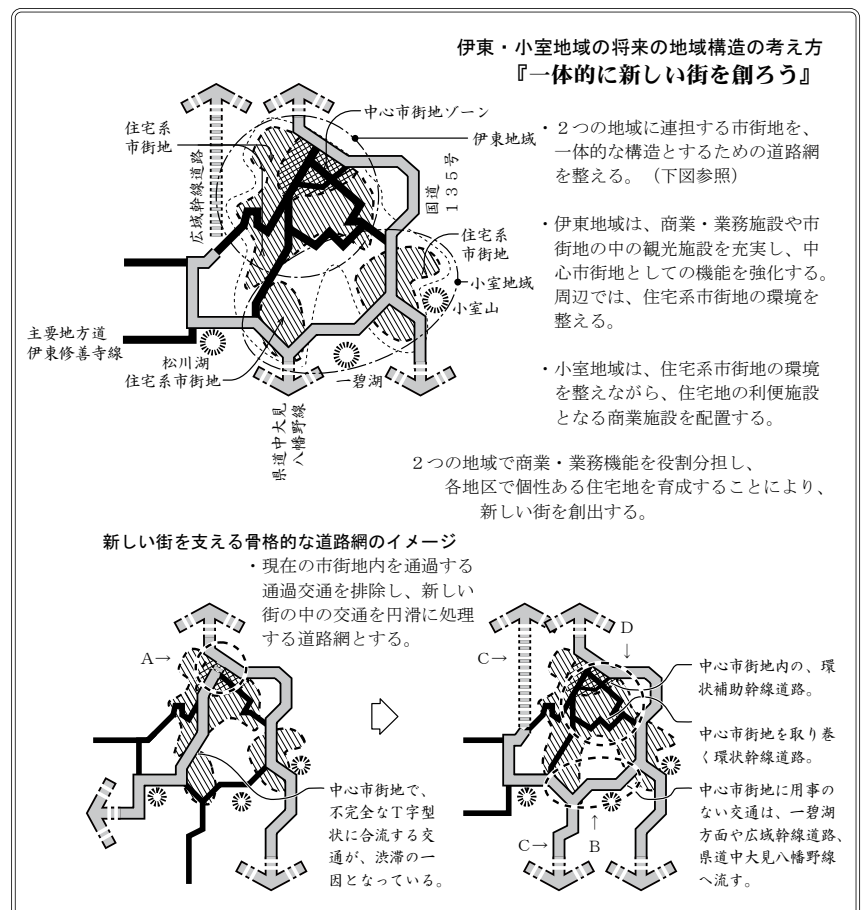
◆新しい街を支える骨格的な道路網の整備

現在の広域幹線道路は、南北幹線である国道135号と伊豆半島中央から伊東市街地へ至る主要地方道伊東修善寺線です。この2路線の交通が、伊東の市街地へ3方向から集中してくることが、市街地の渋滞の一因になっています。(下図中A)

将来は、伊豆半島中央から伊東へ来る交通は、一碧湖経由で吉田方面へつなぎ、市街地内に用事のない交通が流入することを抑制します。(下図中B)

さらに長期的には、山間部に広域幹線道路を整備し、宇佐美方面から荻を経由して、大室山方面へ抜けるバイパス路線を確保していきます。(下図中C)

これにより、市街地内の幹線道路は、伊東市街地と荻、玖須美・川奈、吉田との連絡交通の処理機能を確保し、さらに中心市街地に集中する交通を、2本の環状迂回路で処理していきます。(下図中D)



◆商業・業務機能の役割分担

伊東地域は都心商業・業務機能を強化するとともに、市街地の中の観光を活性化する都市機能を充実していきます。既存の地域中心商業地は、商業地環境の向上を図ります。また、市街地整備に合わせ、新しい産業を積極的に誘導していきます。

小室地域に形成された新しい商業集積地は、日用品、衣料、惣菜・食材等を扱う地域中心商業地としての機能を充実していきます。

◆各地区の個性をいかした住宅地環境の向上

中心市街地では、集合住宅等を充実し、商業やコミュニティを支える地区定住人口を確保します。中心市街地周辺では、住宅以外の用途を適切に誘導し、住宅地環境を向上します。

伊東地域の斜面に形成された住宅地は緑豊かな住宅地とし、小室地域や玖須美元和田等で無秩序に市街化が進行した区域では、住環境の改善を図り、ゆとりと潤いのある住宅地を確保していきます。

2) 伊東・小室地域が目指すまちづくりの方向性

将来の地域構造に示す「一体的な新しい街」を創るために、全体構想を踏まえ、都市環境の形成、土地利用、都市施設の整備の3つの観点で、伊東・小室地域が目指すまちづくりの方向性を整理します。

伊東・小室地域が目指すまちづくりの方向性

(1) 都市環境を形成するための方向性

全体構想〔都市環境基本計画（27頁参照）〕を踏まえ、以下の方向性に配慮していきます。

- ◆健康保養都市の魅力を高めている自然と共生する
- ◆環境への負荷を少なくする
- ◆健康保養都市の快適性（アメニティ）を創出する
- ◆安心して訪れることができる災害に強いまちづくりを推進する

(2) 土地利用の方向性

全体構想〔土地利用基本計画（31頁参照）〕を踏まえ、以下の方向性に配慮していきます。

- ◆中心市街地の機能と魅力を向上し、活性化する
- ◆新たな産業の立地を誘導する
- ◆各地区の個性をいかした住宅地環境を向上する
- ◆別荘分譲地の住環境を維持・向上する
- ◆自然地や農地を保全する

(3) 都市施設の整備の方向性

全体構想〔都市施設基本計画（37頁参照）〕を踏まえ、以下の方向性に配慮していきます。

- ◆新しい街を支える幹線道路網を充実する
- ◆健康保養都市の魅力を高める基幹公園を充実する
- ◆生活道路を整備する
- ◆下水道整備～生活排水処理を検討する
- ◆住環境に配慮した雨水排水施設を充実する
- ◆健康保養都市の魅力を高める公共公益的施設を充実する

3. 伊東・小室地域の将来市街地像

前項の基本構想（まちづくりの方向性）を踏まえ、伊東・小室地域の将来市街地像（63頁の図参照）を整理します。

（1）都市環境を形成するための方向性を踏まえた将来市街地像

◆健康保養都市の魅力を高めている自然と共生する

<自然地の保全>

汐吹崎周辺の沿岸や地域西側の森林地域等、国立公園特別地域に指定されている景勝地及びその周辺への開発は、極力抑制します。

川奈港を除く沿岸や一碧湖、小室山一帯、一碧湖周辺等の国立公園に指定されている景勝地、川奈崎のクロマツ天然林や一碧湖の植物群落等の貴重な植生の区域への開発は、極力抑制します。

伊東駅西側や主要地方道伊東修善寺線沿道、玖須美地区南側や新井地区背後の傾斜地等、市街地を取り巻く斜面緑地は、保全・育成します。これにより、松川湖流域、伊東港や伊東海水浴場等の海域の水質や生態系を保全します。また、身近な自然環境としての活用も検討していきます。

一碧湖周辺の樹林を保全・育成し、湖の水質や生態系を保全します。

→図面中の…保全緑地（森林・農地）

市街地周辺の森林は保全し、都市環境を向上する区域としての活用を検討していきます。環境緑地となっている農用地への開発は、極力抑制していきます。

→図面中の…別荘分譲地・ゴルフ場等

自然環境が豊かな地域にあるので、良好な景観や環境の維持・向上を図ります。

→図面中の…河川（流域環境の保全）

伊東大川（松川）、寺田川、泉川、十足川等は、河川的环境や景観の向上を図るとともに、上流域等の自然環境を保全し、中下流域における水質汚濁を防止します。

→図面中の…人工海岸・水面

◆環境への負荷を少なくする

<市街地拡大の抑制>

伊東地域では、中心市街地とその周辺の既成市街地、国道135号沿道の無秩序に市街化した区域等で、効率的な市街地を形成します。

小室地域では、在来集落や川奈の伊豆急行線沿線、吉田の国道135号沿道、在来集落周辺の無秩序に市街化した区域等で、集約的な市街地を形成します。

→図面中の…都心商業・業務地、地域中心商業地、一般住宅地、低密度住宅地

都市的土地利用の区域には、用途地域を指定していきます。

<総交通量の抑制>

伊東地域への自家用車の乗り入れをできるだけ抑制し、大気汚染の防止、省エネルギーを推進するため、バスや鉄道等の利用を促進する等、健康保養都市にふさわしい移動システムを研究・導入します。

→図面中の…鉄道・駅、港

既存各駅の機能強化を図り、鉄道利用を促し、自動車交通の総量を削減します。

◆健康保養都市の快適性（アメニティ）を創出する

＜都市景観の形成＞

市街地周辺の水と緑をいかし、ゆとりと潤いのある健康保養都市の玄関口にふさわしい都市基盤施設を整備します。伊東大川（松川）沿いでは温泉情緒の演出により、まち並み景観の創出を図ります。

住宅地整備にあわせて、ゆとりと潤いのある都市基盤施設を充実します。

在来集落では農漁村風景を継承し、小室地域の新しい商業集積地では住宅地の環境に調和するまち並み景観の創出を図ります。

→図面中の…人工海岸・水面、保全緑地、河川

伊東、川奈の人工海岸は、健康保養都市の魅力施設として活用していきます。

伊東大川（松川）や駅前通り、キネマ通りやあんじん通り、各地区のメインストリート、地区に点在する歴史的資源等は、景観資源として、保全・活用していきます。

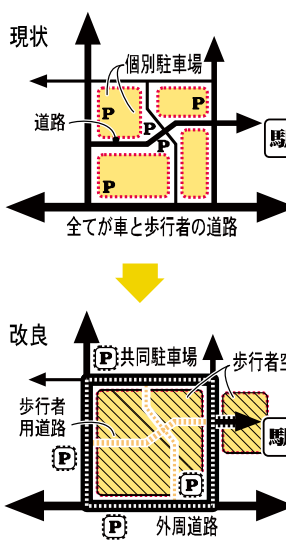
＜バリアフリーへの配慮＞

中心商業地では、歩行者優先の道路を整備し、歩いて楽しい街としていきます。

**将来市街地像を実現するための
例示プロジェクト**

**快適な都市空間を
創出するための
整備方法**

「交通セル」システム
一定範囲の市街地内を、歩行者専用（または優先）区域とし、区域内への自動車の侵入を抑制するシステムです。



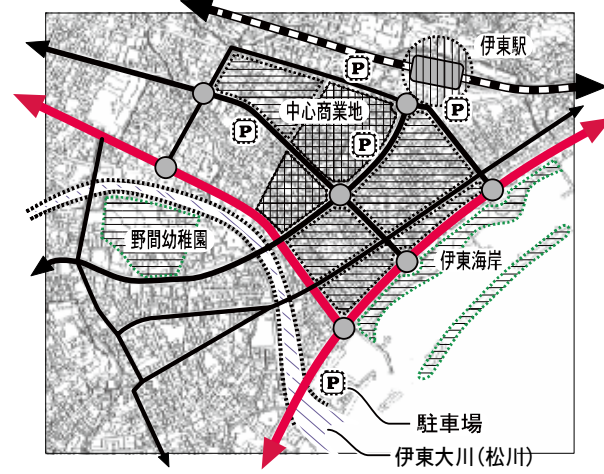
現状
個別駐車場
道路
馬路
全てが車と歩行者の道路

改良
共同駐車場
歩行者空間
歩行者用道路
馬路
外周道路

中心市街地における「交通セル」システム導入の提案

商店街通りを中心に、「観光客や買物客が歩いてみたくなるような歩行者空間の充実」が求められます。

伊東駅を中心にして、伊東海岸や伊東大川（松川）等、散策できる魅力的な施設がたくさんあります。



中心市街地には、従来から歩行者優先区域がありますから、ここを中心にシステムを導入していける可能性があります。（ただし、緊急車両の通行のための最小限の道路整備は必要です。）

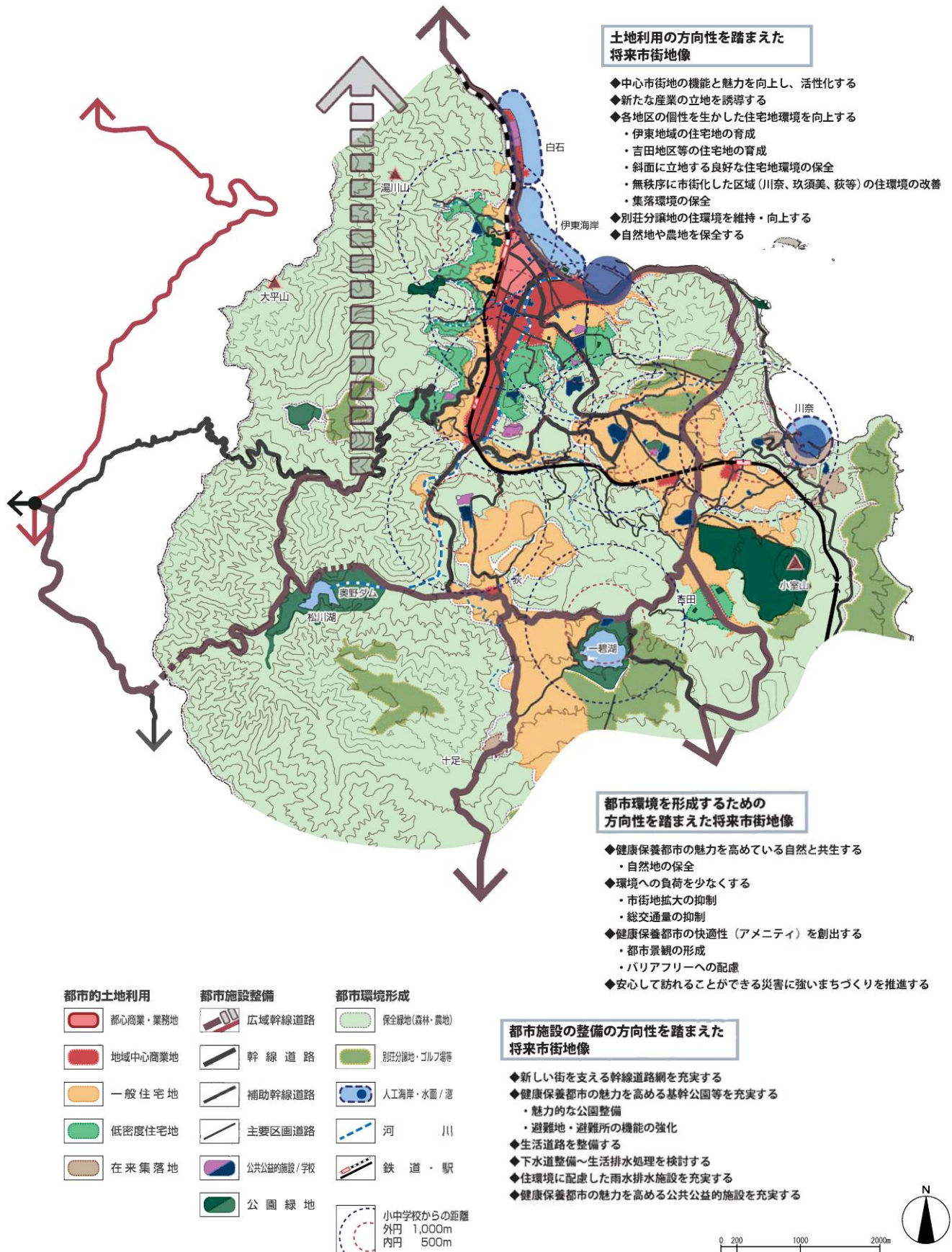
◆安心して訪れることができる災害に強いまちづくりを推進する

火災や津波等の被害を軽減するための防災的な整備を行い、発災時の活動を、適切に支える都市施設・空間を整備します。

→図面中の…都市的土地利用の区域、広域幹線道路、幹線道路、補助幹線道路、主要区画道路、公共公益的施設／学校、公園緑地、港

避難に有効な道路や身近な公園等の空地を確保するとともに、学校等各種公共公益的施設や公園等には、応急対策に必要な機能を備えていきます。

伊東・小室地域の将来市街地像 一体的に新しい街を創ろう



（２）土地利用の方向性を踏まえた将来市街地像

◆中心市街地の機能と魅力を向上し、活性化する

健康保養都市にふさわしい、市街地の中の観光を活性化するための新しい都市機能や地域の活力を向上する新しい産業を導入し、都市空間の再整備を図ります。

火災や津波に備え、湯川、松原地区の木造老朽家屋密集地区では、土地の高度利用、有効利用により、災害時に安全域となるオープンスペースを確保します。

また、津波に対しては、適切な配置計画による津波避難協力ビルの配置や避難経路の設定を行っていきます。

→図面中の…都心商業・業務地

伊東駅前から伊東海岸や伊東大川（松川）までの、既存商業集積地、伊東マリンタウン等では、伊東市の顔としてのにぎわい空間の創出や、市街地の中の観光を活性化するために、快適性、回遊性を備えた魅力的な都心空間とします。

松川遊歩道から海岸線のT字型歩行者ゾーンを中心に、駅前広場、駅前通り及び周辺の路地等では、安全・快適な歩行者優先道路や小広場を充実し、面的な都心商業・業務地を形成します。

伊東駅前地区では、交通結節点としての機能強化や、伊東の玄関口にふさわしい顔づくりとして、駅前広場や周辺地区の再整備を進めます。

→図面中の…地域中心商業地

猪戸通りやあんじん通り、吉田の国道135号沿道、玖須美元和田等には、日用品、衣料、惣菜・食材等を扱う商業地を形成します。

将来市街地像を
実現するための
例示プロジェクト

都市文化の創出

温泉湯治場の歴史やもてなし文化の蓄積等が、都市空間の中で感じられるような、まちづくりに配慮します。

文化的な雰囲気演出

按針や杵太郎の歴史を紹介するための施設等が、街の中に整備されています。また、木造温泉旅館等、歴史的なたたずまいの保全・継承が検討されています。

駅前商業地や港周辺の商業地等では、修景やイベントによって、個性的なにぎわいの雰囲気を演出しています。

このような取り組みが、「伊東らしい文化」を、徐々に育んでいきます。

歴史的資源等を活用する他、各地区の性格にあわせた、新しい文化の創出も大切です。

例えば、従来、観光客を対象としていた商業地でも、地区に定住する住民が増えてくれば、生活環境を整備し、都市居住のための空間を形成していく必要があります。

生活に必要な施設の充実や、にぎわいの街から生活の街へと変化する、街の成長にあわせた雰囲気づくりが望まれます。

高齢者や障がい者等が安心して歩ける・くつろぐことができるまちづくり、あるいは、災害に強いまちづくり等、新しい目的のまちづくりにあわせて、都市空間やまち並みを形成していくことによって、文化的な雰囲気を育むことができます。



・木下杵太郎記念館は、街の歴史や文化を伝える重要な施設です。施設周辺の雰囲気づくりも望まれます。



・既にある歴史的資源（木造温泉旅館）との調和に配慮して造られた、新しい建築物。



・観光客を対象とした店舗と日用品店が混在していることも、伊東らしい商店街の風景です。

◆新たな産業の立地を誘導する

新しい街の魅力を高め、地域の活力を維持・向上し、若年層の雇用を創出する産業を、中心市街地の再整備等に併せて誘致していきます。

→図面中の…都心商業・業務地、他

中心市街地の再整備に併せて、新たな都市機能を導入していきます。

◆各地区の個性をいかした住宅地環境を向上する

＜伊東地域の住宅地の育成＞

中心市街地では、集合住宅や併用住宅等の都市型住宅を充実し、都心居住を促進するとともに、風格のあるまち並み景観を創出していきます。

南伊東駅周辺地区や中心市街地周辺の住宅系市街地では、防災性の向上に配慮し、混在する住宅以外の施設の適切な配置を検討していきます。

＜吉田地区等の住宅地の育成＞

住宅地の環境を保全しながら、本市の商業機能を担う地区としての土地利用を、適切に誘導していきます。

＜斜面に立地する良好な住宅地環境の保全＞

斜面緑地との調和に配慮した住宅地環境を誘導します。

＜無秩序に市街化した区域（川奈、玖須美、荻等）の住環境の改善＞

住宅地環境を向上するため、面的に都市基盤施設を整備します。

＜集落環境の保全＞

川奈、吉田、荻、十足等の在来集落の落ち着いた風致景観は保全し、これまでの良好な環境の維持・継承に努めます。

→図面中の…地域中心商業地

伊東地域の既成市街地では、木造老朽家屋密集地の改善や土地の高度利用・有効利用の促進に併せて、商業やコミュニティを支える地区定住人口を確保するため、集合住宅等を充実していきます。

→図面中の…一般住宅地

都心商業・業務地周辺では、従来の住宅地の環境の向上を図ります。

→図面中の…一般住宅地／在来集落地

無秩序に市街化した区域は、住環境の改善を図り、適正な宅地規模や道路水準、公園等が整った住宅地を整備していきます。

川奈の漁村集落、十足の農村集落では、港や鎮守の森等の景観資源を保全・活用しつつ、小公園を整備する等、住環境の向上を図ります。（33頁参照）

→図面中の…低密度住宅地

伊東地域の斜面に形成された住宅地では、ゆとりのある敷地規模や宅地内緑化を誘導していきます。

小室地域の無秩序に市街化した区域等では、住環境の整備が求められます。

◆別荘分譲地の住環境を維持・向上する

岡地区西側の山腹や一碧湖周辺の別荘分譲地内では、一定の道路形態・整備水準を備えた道路網の充実を検討していきます。

地区内の建築物は、自然環境との調和に配慮していきます。

→図面中の…別荘分譲地

◆自然地や農地を保全する

自然景観、国土の保全、水資源のかん養等の機能を阻害する大規模な土

地利用の転換は極力抑制します。

玖須美、岡地区の緩傾斜地の一団の農地への市街化は、極力抑制します。

→図面中の…保全緑地（森林・農地）（35頁参照）

（3）都市施設の整備の方向性を踏まえた将来市街地像

◆新しい街を支える幹線道路網を充実する

地域へのアクセス性を向上し、市街地内への通過交通の流入を抑制するため、国道135号の4車線化の促進及びその代替路線（バイパス）となる新たな広域幹線道路を山間部に確保していきます。

自家用車等の総交通量を削減するため、伊豆急行線駅への駐車場設置、バス路線の充実等、健康保養都市にふさわしい新しい移動システムを検討・導入し、自動車交通を適切に受け止めます。

観光客等多くの人々に利用される、国道135号（同バイパス）、主要地方道伊東修善寺線は、景観にも配慮し、伊東らしい雰囲気を整えます。

中心市街地内を通る国道135号や都市計画道路伊東駅海岸線、都市計画道路伊東大仁線は、延焼遮断帯や避難路等としての役割を担う道路として整備します。

→図面中の…広域幹線道路

主要地方道伊東修善寺線を一碧湖経由で吉田方面につなぎ、都心に集中する交通を軽減します。

宇佐美方面から湯川の山中を通り、松川湖へ至る広域幹線道路、荻方面から大室山経由で八幡野へ至る県道を、国道135号バイパスとして充実します。

→図面中の…幹線道路

荻から中心市街地へ至る主要地方道伊東修善寺線、玖須美・川奈から中心市街地へ至る国道135号（旧道）を都心からの放射道路とします。この2路線の競輪場付近と南中学校付近を結ぶルートをも、中心市街地の外郭環状道路とします。

→図面中の…補助幹線道路

都心商業・業務地に集中する交通を処理する迂回路を、都心環状道路とします。

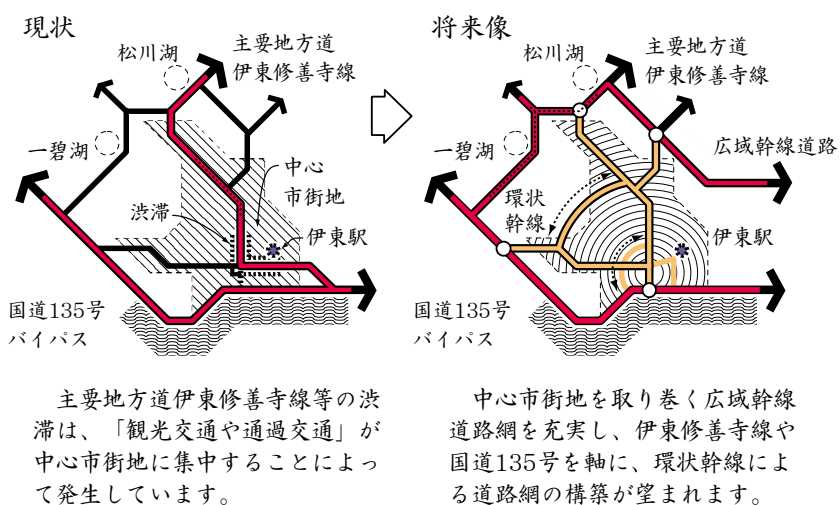
将来市街地像を
実現するための
例示プロジェクト

中心市街地を支える

道路網の充実

小室地域と一体となった中心市街地を形成するために、伊東・小室地域を円滑に結ぶ道路網の充実が必要です。

主要地方道伊東修善寺線等の渋滞を解消し、「観光交通や通過交通」と「伊東・小室地域間の連絡交通」とをある程度分離する道路網を構築することが望まれます。



◆健康保養都市の魅力を高める基幹公園を充実する

<魅力的な公園整備>

小室山総合公園や一碧湖、松川湖周辺は、健康保養都市にふさわしい公園として整備していきます。

中心市街地内や各住宅地区に、公園を配置します。

→図面中の…公園緑地

既存大規模公園の他、一碧湖、松川湖を公園として活用していきます。住宅地整備に併せて、身近な公園を充実していきます。

<避難地・避難所の機能の強化>

近隣公園や街区公園は、防災活動拠点や一次避難場所・避難所としての機能を強化します。

→図面中の…公園緑地

◆生活道路を整備する

湯川・松原の木造老朽家屋密集市街地では、狭い道路を改善します。荻や玖須美等道路が未整備の区域では、計画的に生活道路を整備します。

都市計画道路中央通線や都市計画道路伊東駅伊東港線等、市街地内の主要道路は、消防活動に資する必要な空間を確保します。

→図面中の…主要区画道路

市街地内から幹線道路へ至る主要な路線を、位置付けます。

(39頁参照)

◆下水道整備～生活排水処理を検討する

伊東地域では、全域で公共下水道整備を推進します。

小室地域では、荻、十足で特定環境保全公共下水道整備を推進し、吉田は、公共下水道区域になることから、下流部の伊東地域の今後の整備進捗状況に合わせて、整備を進める予定です。また、川奈は、一部で地域污水处理施設により処理していますが、その他の区域では適切な処理方法の導入を検討していきます。

◆住環境に配慮した雨水排水施設を充実する

中心市街地や荻、吉田等の、低地・谷地に形成された市街地では、景観や環境、親水性に配慮した排水路を充実していきます。

◆健康保養都市の魅力を高める公共公益的施設を充実する

健康保養都市の魅力を高め、伊東市の中心市街地にふさわしい公共公益的施設を充実していきます。

施設配置に当たっては、公営住宅の跡地利用を検討するとともに高齢者等の利便性や自動車交通による渋滞が発生しないように配慮していきます。